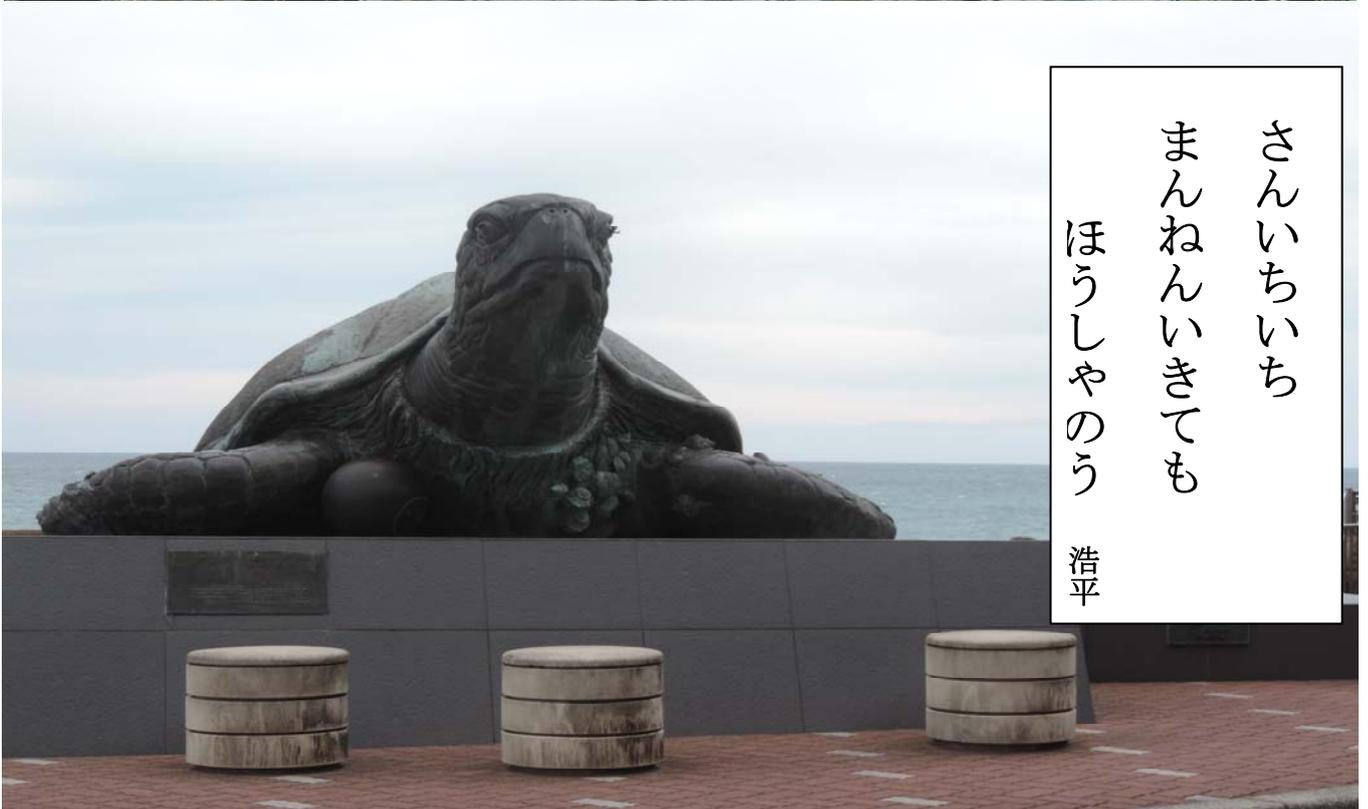


第七十一回フォト句優秀作品（29年3月13日）



プロポーズ  
君のYESで  
春爛漫

三春



さんいちいち  
まんねんいきても  
ほうしやのう  
浩平



水ぬるみ  
かるく口ずけ  
ことはじめ  
隆



金柑を啜え  
見得切る  
えだ舞台  
昌康

寸 評：

1) プロポーズ君のYESで春爛漫 三 春

ボート遊びの二人、水面の波の様子といい桜の枝から垣間見えるボートの位置といい、なかなかの構図である。句も的確な季語の選択で季感に溢れた洒落た作品に仕上がった。

2) さんいちいちまんねんいきてもほうしゃのう 大越 浩平

迫力のある大きな亀の像にひらがなの句をつけた。政治的、観念的な内容を強調するなら、フォト句よりも「亀鳴くや万年生きても放射能」のような俳句にしたほうがインパクトがある。

3) 水ぬるみかるく口ずけことはじめ 池田 隆

水面に写った鏡像を撮り縦型に配置したアイデア作品。句は下5のことはじめが思わせぶりで再考の余地がある。

4) 金柑を啜え見得切るえだ舞台 松田 昌康

絶好のシャッターチャンスをとらえた写真は見事だが、句がなんとなくお粗末。前述の3作品とは異なり、画面の説明に終始し、苦し紛れに下5のえだ舞台のような見慣れない言葉が出て来た。

「飲み込めず声上げられず楽しめず」といった心境だ。



## 付け句

今月は三春さん出題の **B級グルメ** 焼き鳥の詰め合わせの写真。

1) 横並び同期の桜出世せず 平尾 富男

似たもの同士が並んで、同期の桜とは面白い発想だ。「出世せず」の措辞が効いている。出来の悪い同期だったのだろう。

2) 二次会の散財隠す土産かな 下山 健夫

二次会でボッタクられるような場所にいき、後ろめたさに女房に土産を買って帰る、酒呑みの心理は誰も理解できる。

3) 焼き鳥の串の数だけ酔い回る 中村 晃也

4) 付け句より先に出てくる唾液かな 池田 隆

5) 駅前で匂いに負けて縄のれん 松田 昌康

3) ~ 5) は平凡 (**B級**) でコメントする必要はない。